

自然教育園見ごろ情報

2026年7月16日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください

<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

オニユリが
咲きました！



メハジキ

淡紅色の唇形の花が葉の付け根に咲きます。茎を短く切って、上下のまぶたではさんで飛ばす子どもの遊びに使われたことが名前の由来とされています。



花



マツカゼソウ

ミカンの仲間で、葉を揉むと柑橘系のにおいがします。松風草（まつかぜそう）の名前は、やわらかい葉が微風でも風にそよぐ様子に由来します。



花



ミズタマソウ

白色の小さな花を咲かせます。がく、花弁、雄しべがすべて2つの「2数性」という性質を持つ花です。白い毛が密生した果実が露にぬれた様子を水玉に見立てたことが名前の由来とされています。



花



果実



ミソハギ

和名の由来はハギに似て襦（みそぎ）に使ったことから襦袢、または溝に生えることから溝萩に由来といわれます。お盆の供花としてよく使われ、鮮やかな赤紫色の花を咲かせます。

水生植物園で見られます



全域で見られます

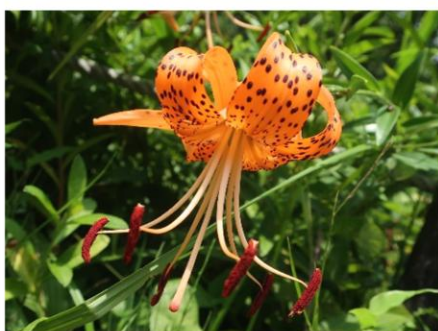
アオスジアゲハ

幼虫は街路樹として利用されるクスノキ科の植物を食べるため、街中でもよく見かけます。飛翔力が高く、樹木や花のまわりを元気にとびまわっている様が、園内のあちこちで見られます。



クズ

山野で見られるつる性の多年草です。地面を這うつるは、他のものに巻きつくか地面を這って10m以上に伸びます。古来から根に含まれるデンプンは葛粉として利用されてきました。また葛根とよんで生薬にもします。



オニユリ

10cmほどの大きな花を下向きに咲かせます。葉のわきには黒紫色の珠芽（ムカゴ）がつき、食べることができます。また、鱗茎は「ユリ根」と呼ばれ、こちらも食用とされています。



ヤブラン

淡紫色の小さな花をたくさんつけています。山地や低地の林にも普通に見られる植物で、栽培もされます。名前に「ラン」とついていますが、ランの仲間ではなく、アスパラガスと同じ仲間（クサスギカズラ科）です。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園